

筑波山地域ジオパークが

日本ジオパークに再認定

◇厳格な審査の実施

2月5日、日本ジオパークへの認定から4年ごとに行われる日本ジオパーク委員会の再認定審査が実施されました。審査に先立ち行われた現地調査では、構成市の首長や議長のほか、事務局や地域住民が参加し、この4年間で進捗してきたことや現地の状況を伝えました。

当市は、ジオパークとヤマザクラの関係など山々との深い関わりやジオパーク商品の開発などを説明しました。



新型コロナウイルス感染症対策のため、リモートでも行われた再認定審査

◇3つの再認定審査結果

再認定審査の結果は、3パターンです。1つは、今回当ジオパークが受けた**グリーンカード**（4年間の認定延長）次に**イエローカード**（条件付き再認定で、2年後に再認定審査）最後は、**レッドカード**（認定取り消し）です。

◇注目の今後

筑波山地域ジオパークが観光業や商品開発を通じて、地元さらには貢献できるような活動も続けていきます。



グリーンカードの獲得を目指し、認定ジオガイドなど地域住民も審査に参加

日本郵便株式会社と包括連携協定を締結

問合せ／企画課（☎58-5111-75-3111代表）

1月28日、日本郵便株式会社（衣川和秀代表取締役社長）と桜川市の包括連携協定の締結式が市役所大和庁舎で行われ「包括連携に関する協定」を締結しました。

この協定は、当市と市内8か所の郵便局が、お互いの人的・物的資源を有効に活用して、市民サービスの向上を図ることを目的にしています。

真壁郵便局の大家隆道局長、岩瀬郵便局の野地聡局長からの申し出により実現した今回の協定では、新たに地

域経済活性化などの項目が盛り込まれました。

また、これまで個別に協定を締結していた災害に関することや、高齢者の見守りなどの項目の一本化も実現しました。

今後も市民の皆さまの安全安心に必要な事項について、お互いに協力しながら進めていく予定です。

今回の協定の主な内容

- ◆郵便局員の配達時の
 - ◆児童生徒の登下校時の見守り
 - ◆一人暮らしの高齢者の安否確認などの地域見守り活動
 - ◆道路の破損の発見時や廃棄物などの不法投棄を発見した時の通報
 - ◆災害発生時の協力
 - ◆市民の安全安心な暮らしに関すること
 - ◆地域経済活性化に関すること
 - ◆未来を担う子供の育成に関すること
- など、合計8つの項目についての協力を行っていきます。



協定を締結した日本郵便株式会社の皆さん

寄付 寄贈

大和中学校、雨引小学校、大国小学校から、児童生徒が育てたパンジーが寄贈され、大和ふれあいセンター「シトラス」の玄関などに飾られました。



色とりどりのパンジーを届けた大和中学校生徒会役員の皆さん

東京フード株式会社（菅野清幸代表取締役社長）から感染症対応業務を行う職員や関係者を応援したいと、チョコレート（20g入）2千個の寄贈がありました。



大塚市長にチョコレートを手渡す管野社長（左）と同席した白田信夫県議会議員（右）

寄付

寄贈